

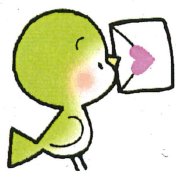


八頭町立郡家東小学校 学校だより
ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成



輝く瞳をもつ子供

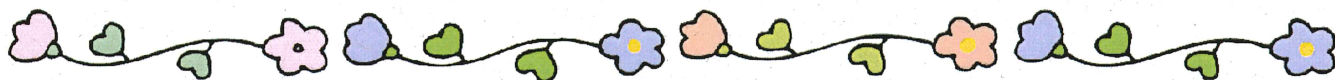
第12号 R6. 1. 31
八頭郡八頭町稲荷310番地
TEL 0858-73-0010
FAX 0858-73-0011
E-mail
koge-e@mailk.torikyo.ed.jp



自立して生きる

盛田里美

子供たちが楽しみにしていたスキー教室を延期しなければならないほど、雪の少ない3学期の始まりでした。1月24日から雪となり、保護者の皆様、地域の皆様には通学路確保のための除雪を大変お世話になりました。雪道の登下校は、歩きにくく時間もかかります。それだけに、がんばって登校してきた子供たちの顔、たくましい姿を見ると心からうれしく胸がいっぱいになります。また「がんばって。気をつけて行ってらっしゃい。」と送り出してくださった各ご家庭の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



令和5年度も2月と3月を残すだけとなりました。それぞれの学級が、学校教育目標「ふるさとを愛し 志を立て 自立して生きる児童の育成」の達成に向けて、年度はじめに立てた目標に到達するようまともに励んでいます。特別活動の委員会活動でも、給食委員会の「全国学校給食週間の取り組み」、ボランティア委員会の「能登半島地震義援金活動」、健康委員会の「大谷選手グローブお披露目の会」などこれまでつけてきた力を様々な場面で発揮しています。2月15日には、本校の特色であるエンジョイ集会も予定しています。エンジョイ集会は、実行委員も出演者も立候補することができ誰にもチャンスがあります。オーディションの様子から、子供たちが1年間この集会を心待ちにし、本番に出場したくて一生懸命練習して臨んだことが伝わってきました。まさに「輝く瞳」そのものです。合格の喜びも不合格の悔しさもチャレンジした人にしかわからない貴重な体験だと思います。

自立して生きるためには、物事に主体的に取り組んでいく力が必要です。子供たちは、学年や学期のはじめに目標を立てます。自分でがんばろうと思えたことで第1段階はクリアです。次は、がんばろうと思ったことに全力で取り組んでみることです。6年生が『大切にしていきたい言葉』を卒業文集に書いていましたが、その多くは「失敗は成功のもと」に類似する言葉でした。ネイマールの「全力でやって失敗して何がカッコ悪い？ 失敗を恐れて何もしない方がよっぽどカッコ悪い。」という言葉もありました。はじめの一步を踏み出すには勇気が必要ですが、このような言葉を心の支えに一步一步進んで欲しいと思います。取り組んだ結果うまくいなくても、次の行動につながります。自立とは、いつもうまくいっているというわけではなく、よりよくするにはどうしたらよいのかを他の人の力も借りながら考え、行動することができる力です。これからも学校生活の様々な機会を捉え、子供たちが自立して生きていくことができるよう、力をつけていきたいと思いを。

